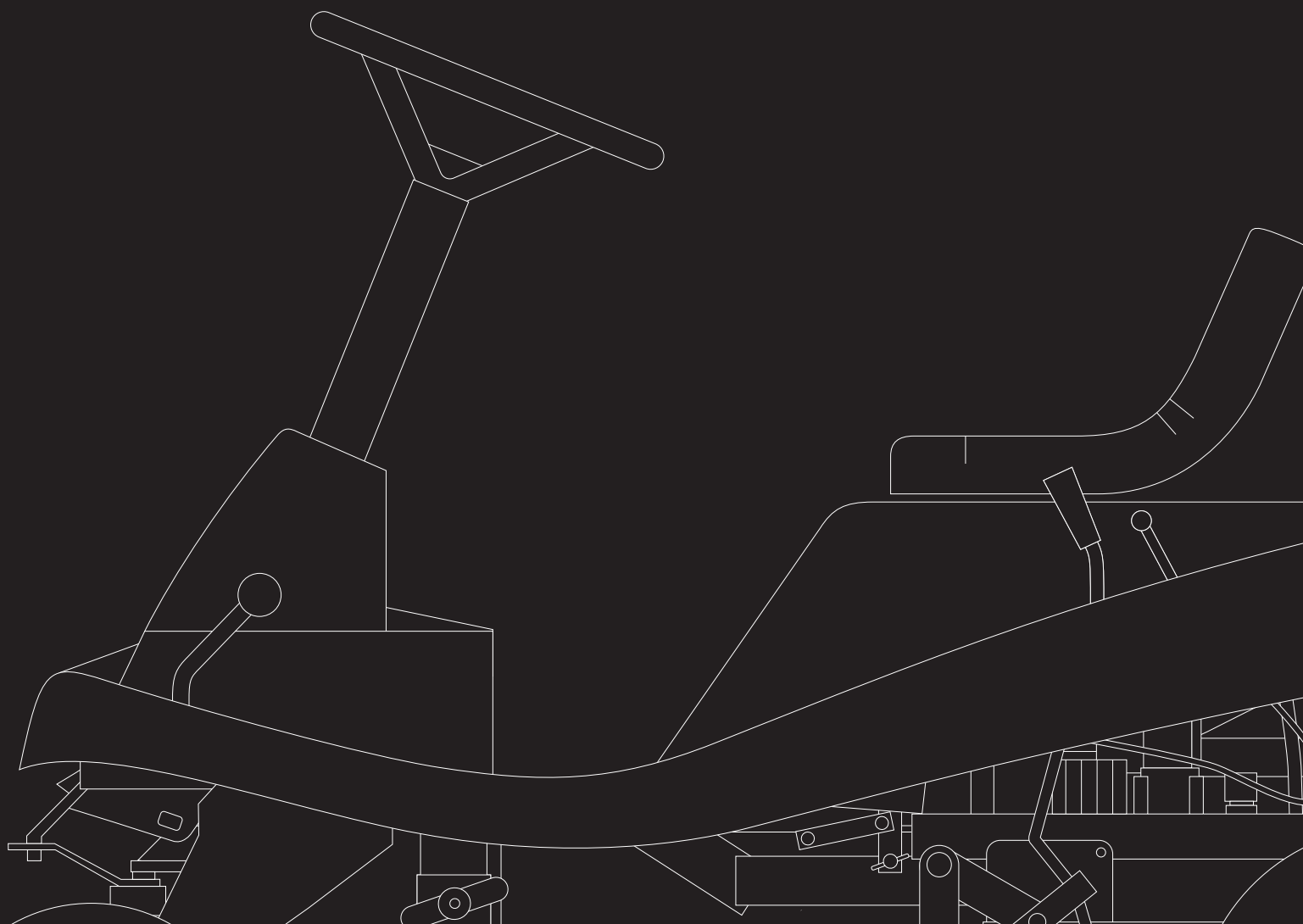




乗用エンジン式草刈り機

RGC660

OPERATING MANUAL



はじめに

この度は、当社の乗用草刈り機 RGC660 をご購入いただき厚くお礼申し上げます。

本製品がいつまでもお役に立ちますよう、取扱い説明書を十分お読みの上、ご使用ください。

メーカーは、機械の用法、運転、点検、整備を直接監督指導することはできません。

正しく安全に作業を実施するのは、あなた自身です。

尚、この取扱い説明書で述べていることの他にも作業によっては、

法令、条例、規則や保険条件などが適用されることがありますので十分ご注意ください。

また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあったときには取り出してお読みください。

尚、仕様変更などにより本製品と取扱い説明書の内容が異なる場合もありますのであらかじめご了承ください。

❗ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた **❗** の表示がある警告ラベルは人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。なお、ラベルが汚れている場合は石鹼水で洗い、柔らかい布で拭いてください。汚損や紛失したラベルは、お買い上げの販売店に注文し必ず所定の位置に貼ってください。ラベルが貼付されている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。

注意表示に関して

この取扱い説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項に関して次のように表示しています。

❗ 警告	注意事項を守らないと、死亡または重症を負う危険性があります。
❗ 注意	注意事項を守らないと、けがまたは家屋や財産に損害を負うおそれがあります。
🚫 禁止	指定行為を禁止します。
❗ 指示	指示行為を強制します。

も く じ

1	安全にお使いいただくために	3
2	サービスと保証について	5
3	表示ラベルとその取扱い	6
4	各部の名称	7
5	取扱い	
	チョーク / スロットルレバー	8
	走行操作レバー	8
	緊急ブレーキペダル	8
	刈刃回転制御レバー	8
	パーキングブレーキ	9
	刈高調整レバー	9
	シート位置の調整	9
6	運転前の点検	
	刈刃の点検	10
	燃料の点検・補充	10
	エンジンオイルの点検	10
	エアクリーナーの点検	10
7	運転操作の仕方	
	エンジンのかけ方	11
	エンジンの止め方	12
	芝刈り・草刈り操作	12
	傾斜面での芝刈り・草刈り	13
	刈取りパターン	13
	芝・草の処理について	13
	作業の終了	14
	走行に関しての注意	14
	車両の移動に関しての注意	14
	排出アタッチメントの付け替え	14
8	点検・整備の仕方	
	運転前の点検	15
	エンジンオイルの交換	15
	刈刃の交換	15
	ベルトの点検	16
	グリスの塗布	16
	点火プラグの点検・清掃	17
9	長期間使用しない時	17
10	故障かな？と思ったら	18
17	仕様表	19
	保証書	21

1 安全にお使いいただくために

乗用草刈り機の安全に係る事項

！ 警告



禁止

- ・燃料の臭いがする場合は運転しないでください。爆発の恐れがあります。
- ・エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡する恐れがあります。
- ・エンジンが熱いうちは、給油してはいけません。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままでエンジンを始動しないでください。
- ・運転時や給油時は喫煙など火気を発生させないでください。
- ・屋内など、換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。
- ・可動している部分の近くに手又は足を入れないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがあるので注意してください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業をさせてください。
- ・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- ・運転中に回転部及び可動部（出力軸・フライホイール・ファンベルト・プーリー等）に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- ・運転中は絶対投入口、排出口をのぞき込んだり、排出口の下に入らないでください。
- ・周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



指示

- ・自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- ・給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- ・給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- ・燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- ・燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- ・運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- ・点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- ・運転中に点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
- ・停止中でも、直接刃物に触れないでください。怪我をすることがあります。
- ・エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
- ・点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・ガソリンエンジンの点検整備を行なう場合は、点火プラグキャップを外してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
- ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・始動前点検を実施してください。
- ・急傾斜地では使用しないでください。
- ・舗装地、砂利、その他硬い地面で 사용하지 しないでください。振動で本体が動き思わぬ事故につながる恐れがあります。

！ 注意

 禁止	・指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	・燃料はレギュラーガソリンを使ってください。 ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。 ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。 ・部品交換は、純正部品を使用してください。 ・本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。 ・定期点検整備を行ってください。 ・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

！ 警告

 禁止	・身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。 ・動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。 ・ご使用時は、使用者から12m内は危険です。人や動物がはいらないようにしてください。 ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。 ・転倒しやすい場所では使用しないでください。 ・作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。 ・土や砂利道の上で刈刃を回転させないでください。 ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
 指示	・水平で安定した場所に設置してください。 ・適切な時期に休憩をとってください。 ・本機から離れる時や危険を感じたり予測される場合は、必ずエンジンを停止してください。 ・持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜きとってください。 ・運搬時、格納時は刃物カバーを必ず取付けてください。 ・本機を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人以上で行ってください。 ・移動する時は、刈刃の回転を止めてください。 ・事前に、作業範囲内の石、木片などの異物を取除いてください。 ・作業前に集草袋に穴や擦り切れがないか点検してください。 ・作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、刈刃に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。 ・急傾斜地や雨天時は使用しないでください。 ・舗装地、砂利、その他硬い地面で使用しないでください。振動で本体が動き思わぬ事故につながる恐れがあります。 ・車両に堆積した草等はきれいに取除いてください。火災の恐れがあります。

！ 注意

 禁止	・機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。 ・エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。
 指示	・エンジンの空気吸入口に草などが堆積するとオーバーヒートや熱による車体の異常が発生する可能性があります。作業前に必ずエンジンの空気吸入口を点検し、草などが堆積している場合は清掃してください。 ・長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。 ・長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。 ・シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。 ・定期点検整備を行っていただく時は、取扱説明書にしたがって保管してください。

2 サービスと保証について

製品保証

本製品には、保証書が添付してあります。詳細は、保証書をご覧ください。

サービス（相談窓口）

ご使用中の故障やご不明な点およびサービスについてのご用命は、ご購入された販売店または弊社営業所にお気軽にご相談ください。

その際、本機の型式と製造番号・搭載エンジンの型式・ご購入日などをご連絡ください。

□号機番号貼り付け位置



□エンジン号機番号貼り付け位置

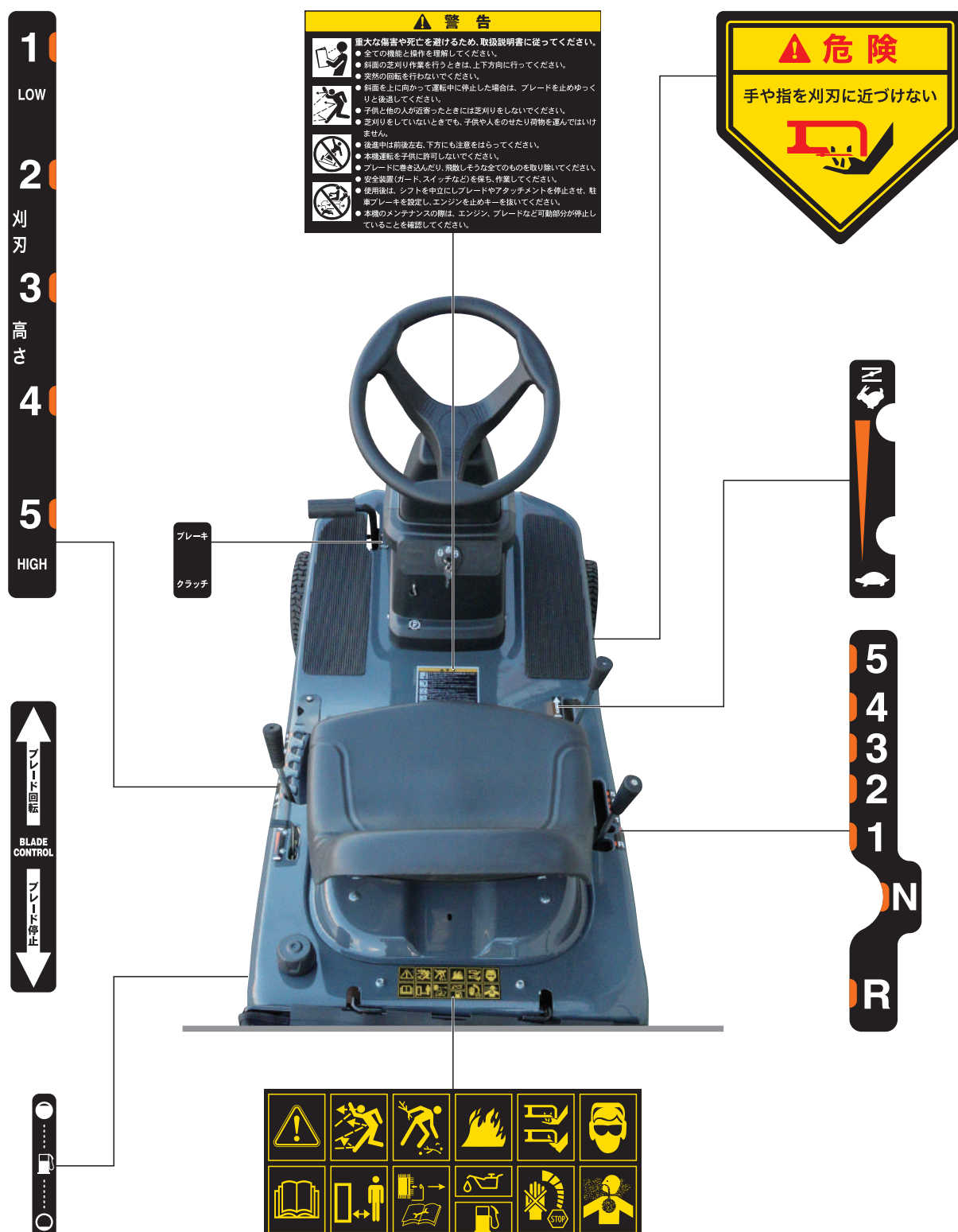


3 表示ラベルとその取扱い

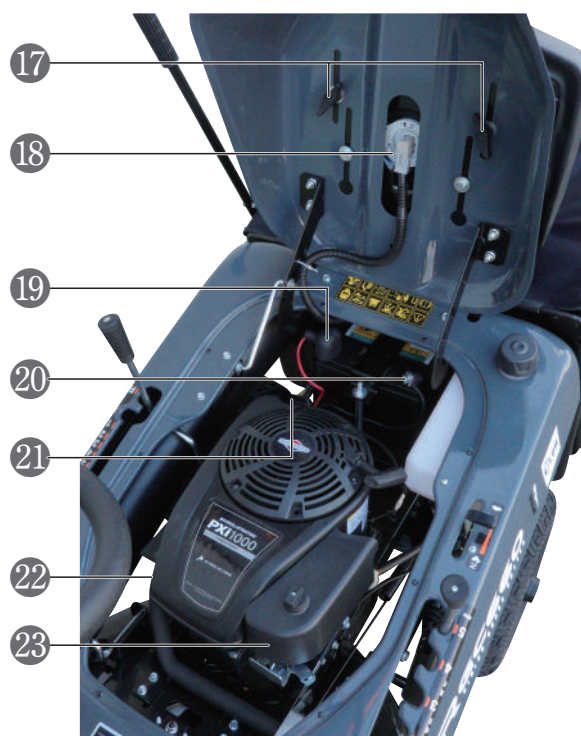
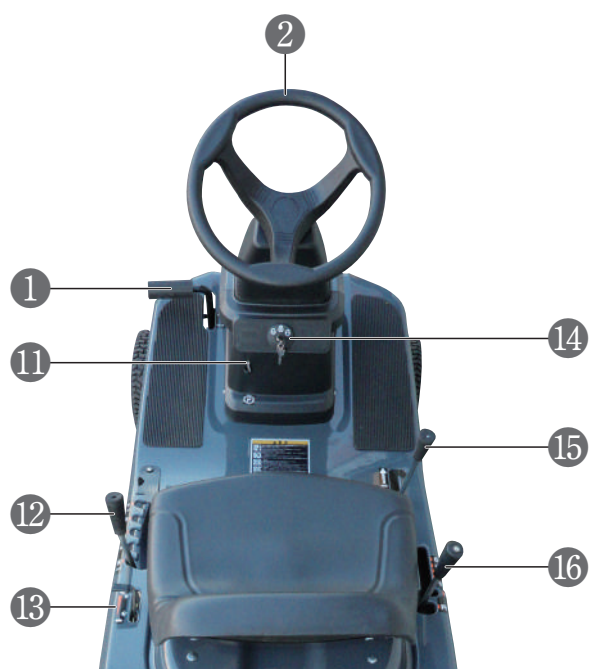
表示ラベルの手入れと貼付位置

本機には安全についてのラベルが貼ってあります。良く読み理解した上で運転してください。

- ① ラベルが汚れている場合は石鹸水で洗い、柔らかい布で拭いてください。
- ② 汚損や紛失したラベルは、お買い上げの販売店に注文し所定の位置に貼ってください。
- ③ ラベルが貼付されている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。
- ④ 新しいラベルを貼る場合は、貼付け面の汚れを完全にふき取り、乾いた後元の位置に貼ってください。



4 各部の名称



- ① 緊急ブレーキペダル ② ハンドル ③ 座席シート ④ 燃料タンク容量確認窓 ⑤ 燃料給油口
 ⑥ 集草バッグ排出レバー ⑦ 草集バッグ（オプション販売） ⑧ 前輪タイヤ ⑨ 刈刃カバー ⑩ 後輪タイヤ
 ⑪ パーキングブレーキ ⑫ 刈高調整レバー ⑬ チョーク / スロットルレバー ⑭ エンジンスイッチキー
 ⑮ 刈刃回転制御レバー ⑯ 走行操作レバー ⑰ シート位置調整ノブ ⑱ シートスイッチ ⑲ バッテリー + (プラス) 端子
 ⑳ バッテリー - (マイナス) 端子 ㉑ エンジンオイル給油口 ㉒ スパークプラグキャップ ㉓ エアークリーナーカバー

5 取扱い

チョーク / スロットルレバー



1 エンジンが冷えているときは、チョークマーク  に合わせます。(うさぎマークの奥)

2 チョーク / スロットルレバーを「高速(うさぎマーク)」に合わせるとエンジンの回転が高くなり、「低速(かめマーク)」に合わせると、低くなります。

走行操作レバー



1 前進する場合は、走行操作レバーを希望するスピードの位置「1～5」に合わせます。後進する場合は、走行変速レバーを「R」に合わせます。

緊急ブレーキペダル

停止、前進、後進させます。



1 緊急ブレーキペダルをいっぱい踏み、停止してから他の操作に移行してください。

2



チョーク / スロットルレバーを「低速(かめマーク)」にします。

3

前進する場合は、走行変速レバーを希望するスピードの位置「1～5」に合わせます。後進する場合は、走行変速レバーを「R」に合わせます。

4

緊急ブレーキペダルをゆっくり放します。

5

チョーク / スロットルレバーを「高速(うさぎマーク)」にします。

刈刃回転制御レバー

刈刃を駆動、停止させます。



1 エンジン을 掛けるときは、刈刃クラッチレバーが「ブレード停止」の矢印先端の位置に合わせます。

2

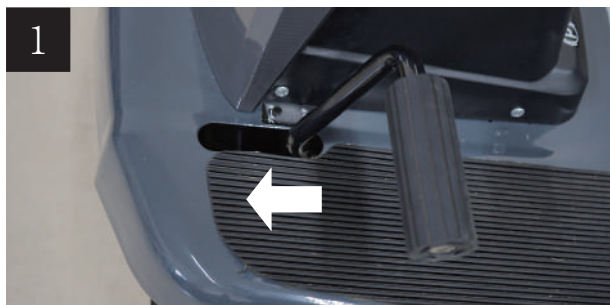


2 刈刃を駆動するには、刈刃回転制御レバーを「ブレード回転」の位置に合わせます。

3 刈刃を停止するには、刈刃回転制御レバーを「ブレード停止」に合わせます。

4 道路を横切る時は、必ず刈刃を停止してください。

パーキングブレーキ



緊急ブレーキペダルをいっぱい踏みます。



パーキングブレーキを引張り上げます。

3 緊急ブレーキペダルをゆっくり放します。

4 道路を横切る時は、必ず刈刃を停止してください。

刈高調整レバー

刈高は5段階調整が可能です。

1 刈高調整レバーを希望する刈高1～5の位置に合わせます。

Point

刈りたい高さよりも高い位置からはじめ、徐々に刈高を下げていくことがきれいに刈れるコツです。

！ 注意

はじめから刈高を低くすると、芝や草が詰まったり、ベルト類に負荷をかけてしまいベルト切れや破損の原因になります。



道路を横切る時は、一番高く(5段)し、刈刃回転制御レバーを「ブレード停止」にします。

シート位置の調整

作業者の身長に合わせシート位置を調整します。



シート部分を開けステーで自立させ、ノブを緩めて身長に合わせてシート位置を上下させます。調整後はしっかりとノブを締めてください。

6 運転前の点検

！ 警告

禁止	・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。 ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。 ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
指示	・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。 ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。 ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。 ・燃料キャップは確実に締めてください。

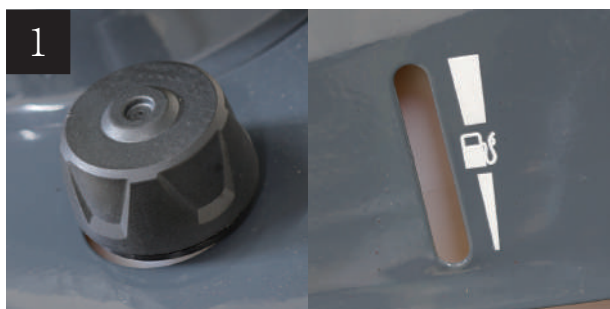
刈刃の点検

刈刃に、割れ、曲がり、磨耗などの異常、緩みがないか確認します。そのまま使用しますと、重大な事故や故障の原因になります。

燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン（レギュラー）
タンク容量	4.2 L

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。



燃料タンクキャップを外し、ボディ横の窓を見て残量を確認します。

2 少ない時は上限の位置まで補給します。

3 補給後、給油キャップを確実に閉めます。

エンジンオイルの点検

エンジンオイルの量、よごれを確認します。

※出荷時にエンジンオイルは入っていますが、量は必ずご確認ください。

1 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを外します。



オイルが、オイルゲージのオイル量範囲の上限にあるか点検します。

3 オイル量が少ない時は、新しいオイルを、上限位置まで補給します。



推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 SJ 10W-30
オイル量	0.53 L

エアクリーナーの点検



カバーを開け、エアクリーナーを取り出し清掃します。

2 汚れがひどい場合は、エアクリーナーの交換を行ってください。

3 取り外しと反対の手順で取付けます。

7 運転操作の仕方

！ 警告

禁止	・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。 ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。 ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので高温部に触れないでください。
指示	・エンジン始動時、ハンドルをしっかり握ってエンジンを始動してください。 ・運転中は必ず両手でしっかりハンドルを握ってください。 ・平坦な場所で作業を行ってください。 ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。 ・本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。 ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

！ 注意

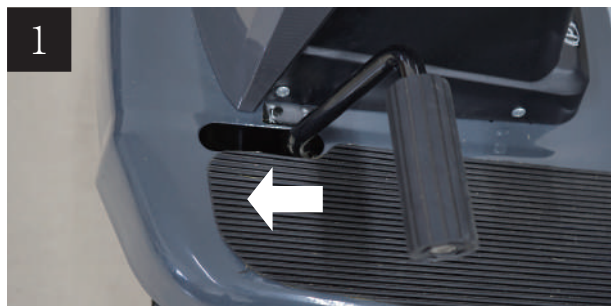
・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

！ 警告

エンジンをかける前に必ず刈刃に、割れ、曲がり、磨耗などの異常、緩みがないか確認します。そのまま使用しますと、刈刃が飛び出すなど重大な事故や故障の原因になります。

エンジンのかけ方

シートに座らないとエンジンはかかりません。



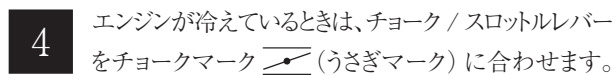
緊急ブレーキペダルをいっぱい踏み続けます。



走行操作レバーを「N」の位置にします。



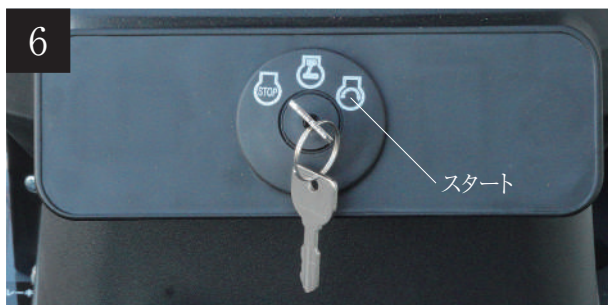
刈刃回転制御レバーを「ブレード停止」にします。



エンジンが冷えているときは、チョーク / スロットルレバーをチョークマーク  (うさぎマーク) に合わせます。



エンジンが暖まっている時や再始動時には、チョーク / スロットルレバーを「中速 (うさぎマークとかめマークの中心)」に合わせます。



エンジンスイッチを「START」まで回し、始動したら直ぐに放します。6秒以内にエンジンがかからない時は、少し時間をおいてから再始動してください。

！ 注意

セルスターターは連続で回さないでください。故障の原因になります。



チョーク / スロットルレバーを「低速 (かめマーク)」に動かします。異常音、振動などが無いことを確認してください。

8 暖機運転後芝刈り作業を行います。

エンジンの止め方



エンジンスイッチを「STOP」まで回すと停止します。



シートから離れるとエンジンは停止します。

Point

シートサポートを開けると、安全装置があります。この安全装置が押される（座る）ことでエンジンがかかり、離れる（立ち上がる）ことで安全装置が働き、エンジンが止まる仕組みです。

芝刈り・草刈り操作

Point



刈りたい高さよりも高い位置からはじめ、徐々に刈高を下げっていくことがきれいに刈れるコツです。

1 緊急ブレーキペダルを踏みエンジンを始動します。

2 刈高調整レバーで刈取りたい高さより高い位置に調整します。

！ 注意

はじめから刈高を低くすると、芝や草が詰まったり、ベルト類に負荷をかけてしまいベルト切れや破損の原因になります。



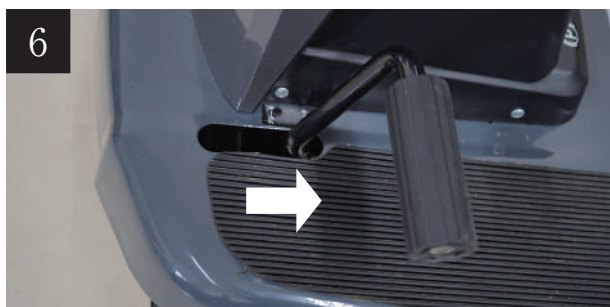
チョーク / スロットルレバーを「低速 (かめマーク)」の位置に合わせます。



走行操作レバーを「1」速にします。



刈刃回転制御レバーを「ブレード回転」の位置に合わせます。



ゆっくり緊急ブレーキペダルを放します。



チョーク / スロットルレバー「高速 (うさぎマーク)」の位置に合わせます。

8 芝刈り・草刈り作業を行います。

！ 注意

作業中、急に本体下の方から「キュルキュル」という音や白煙が出たらすぐにエンジンを停止してください。芝や草が詰まり、ベルトに負荷がかかっていますので、速やかに詰まりを取除いてください。

傾斜面での芝刈り・草刈り



傾斜面では、一番低速で作業してください。

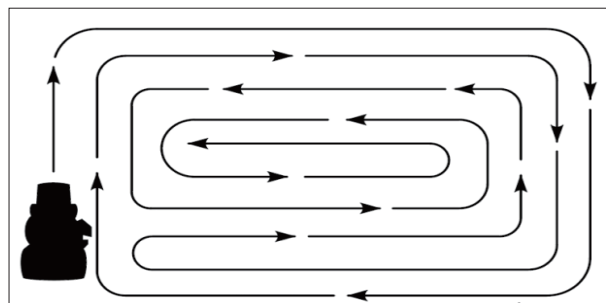


走行操作レバーを「1」速にします。

3 傾斜面では、止まったり、スピードを変えたりしないでください。

刈取りパターン

広い場所での芝刈り・草刈りは、右回りに1～2周した後、中心に向かって左回りに刈り作業を行います。



芝・草の処理について

！ 注意

濡れている草・芝、雨上がりの草・芝を刈ると、チューブ内や刈刃カバー内に草・芝が張り付き、詰まりやベルトの破損の原因になります。

1 集草袋に芝や草がいっぱいになる前にこまめに捨ててください。集草袋がいっぱいになってもそのまま作業を続けると、排出チューブ内に詰まり、チューブを取外さないと取除けなくなります。



集草バッグ排出レバーを下げることで、乗車しながら草や芝を排出することができるのでこまめに捨ててください。

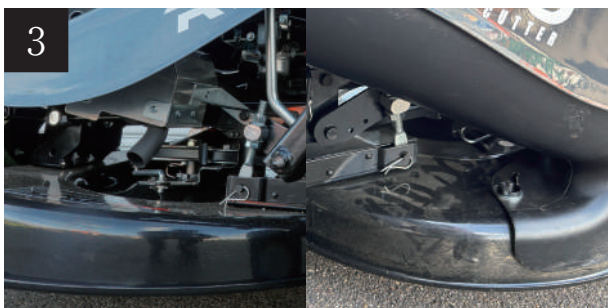
- 3 横排出の場合も排出の勢いが落ちたと感じたり、音に変化があったらエンジンを停止し詰まりを確認してください。

作業の終了

- 1 エンジンを停止します。
- 2 刈高調整レバーの刈高を「6」にします。

！ 注意

車両に堆積した草等はきれいに取除いてください。火災の原因になります。



刈刃カバーに付いたりパイプに詰まった草・芝はそのまま放置しないで必ず毎回取除いてください。次回運転時にベルト負荷がかかり破損したり、摩擦で発火し火災の原因になります。



エンジンの空気吸入口に草などが堆積するとオーバーヒートや熱による車体の異常が発生する可能性があります。作業後には必ずエンジンの空気吸入口を点検し、草などが堆積している場合は取除いてください。

走行に関しての注意



1 ハンドルを切った状態で発進しないでください。タイヤ、車軸、本体に負荷がかかり破損の原因になります。

車両の移動に関しての注意



移動をする際は、必ず刈高調整レバーの一番高く（6 段）し、刈刃回転制御レバーを「ブレード停止」にしてください。

排出アタッチメントの付け替え



サイド排出用アタッチメント



マルチング用アタッチメント

三箇所ある蝶ネジを緩め、アタッチメントを付け替えます。付け替えた後は、ワッシャー、蝶ネジの順でしっかりと締めてください。

8 点検・整備・交換の仕方

！ 警告

- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

！ 注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヵ月後又は 20 時間運転後	3ヵ月毎又は 50 時間運転	6ヵ月毎又は 100 時間運転	1 年毎又は 300 時間運転	掲載ページ
対象部品	ガソリン量、漏れ	●					P.10
エンジンオイル	オイル量	●					P.10
	交換		●	●			P.15
エアクリーナー	清掃			●			P.10
	交換					●	P.10
点火プラグ	清掃				●		P.17
	交換					●	P.17

運転前の点検

本機をご使用するたびに点検を行ってください。

エンジンオイルの交換

エンジンオイルは、初回 20 時間、以降 50 時間毎に行ってください。オイルドレンが本体中央下部にあるため、オイルエキストラクターを利用します。

- 1 エンジンオイル給油口から汚れたオイルを吸い上げます。



推奨オイル【SJ 10W-30】を給油します。総量 0.53 Lを超えないよう、オイルの量の確認を行ってください。



オイルが、オイルゲージのオイル量範囲の上限にあるか点検し、少しずつ入れます。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 SJ 10W-30
オイル量	0.53 L

- 3 エンジンオイルが適量になったら給油口をしっかり締めてください。

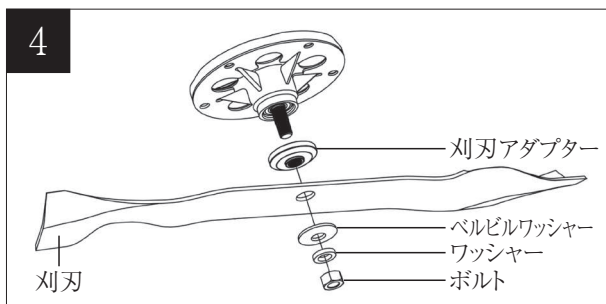
刈刃の交換

刈刃の交換を行います。作業は、2 名以上で行ってください。エンジンを切って行ってください。

- 1 刈刃カバーを外します。
- 2 刈刃が回転しないよう、木片などで固定します。

3 刈刃を固定しているナットを外します。

4



新しい刈刃を取り付けます。このとき、刈刃の上下のワッシャー類の取り付け順を間違えないでください。

5 指定の力で刈刃を取り付けます。

締め付けトルク	47.5 Nm
---------	---------



！ 注意

ご自身で刈刃交換をする場合に、本機の下に絶対に潜り込まないでください。安全に刈刃の交換ができない場合は、お求めの販売店またはプラウショップにご相談ください。

お問合せ：025-530-6025

10:00～12:00 13:00～17:00 日曜定休

ベルトの点検

ベルトは消耗品です。作業後はベルトの点検を行ってください。刈刃が回転しない多くの原因は、草などの絡まりとベルトの切れ、軸とプーリーの接続部の摩耗です。トラブルを未然に防ぐためには点検が有効です。



走行（駆動）ベルトと刈刃ベルトに切れや摩耗がないか確認し、不具合がある場合はベルトの交換を行います。

グリスの塗布

回転部・可動部には、機械用グリスを適宜塗布してください。

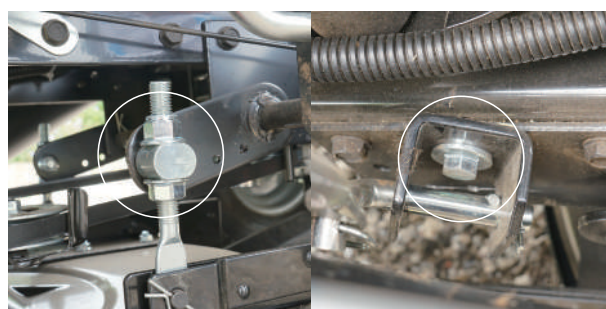


前輪車軸

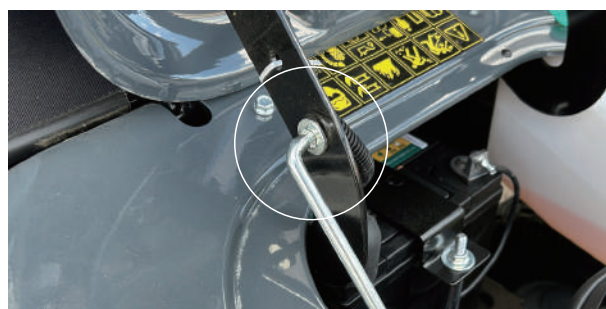
後輪車軸



タイロッド(ステアリング操作を車輪に伝達する棒)



シフトリンク(走行操作レバーを操作した時の可動部)

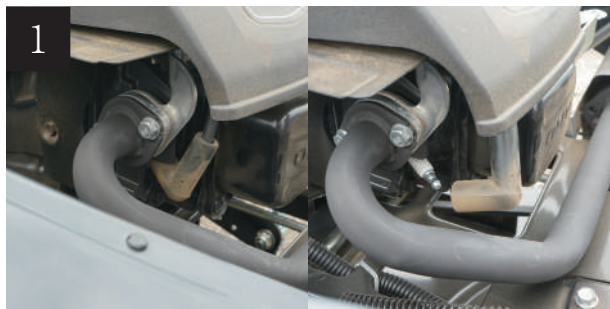


シートオープンスター

点火プラグの点検・清掃

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。

■使用工具：プラグレンチ、ワイヤブラシ



点火プラグキャップを取外します。

2 点火プラグをプラグレンチで取外します。

3 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。

4 取外しと逆の手順で取付けます。

適応点火プラグ	BKR5ES (NGK)
---------	--------------

9 長期間使用しない時

本機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

1 保管する時は、平坦で堅い地面に水平に置いてください。

2 燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。

3 エンジンスイッチを OFF にしてください。

4 点火プラグキャップを外します。

5 刈刃の周りを清掃します。

6 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。

7 防錆、給油を行います。

8 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

9 バッテリーの配線を外します。

！ 注意

車内に積載したまま、直射日光のあたる場所に、長時間放置しないでください。気化したガソリンが、引火し爆発する恐れがあります。

Point



写真はオープン状態

RGC660 には燃料コックが備わっています。シーズン中は開けたままで構いませんが、下記の場合は閉じてください。

- ・長期間使用しないとき（シーズンオフなど）
- ・積載車等で移動をするとき

10 故障かな？と思ったら

■エンジンがかからない

症 状	原 因
点火プラグに火花が出ていない	シートスイッチの不良
	点火プラグ不良
	点火プラグキャップ接続不良
キャブレターに燃料が来ていない	燃料がはいっていない
	燃料ホースの詰まり、漏れ
	燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり（ニードル・バルブ固着） 燃料コックが閉じている
オイルがガソリン臭い	オイルにガソリンが混ざっている

■エンジンはかかるが、回転があがらない

症 状	原 因
エンジン回転数が上がらない	エアフィルタの汚れ

■過度の振動

症 状	原 因
本体が振動する	刈刃のバランスがとれていない
	刈刃の割れ・曲がり・摩耗など
	刈刃取付けボルトが緩んでいる

■うまく刈取りができない

症 状	原 因
芝生が放出されない	刈刃の刃先が極端に摩耗している
芝生が刈れない	刈取り高さが合っていない
	集草袋が目詰まり、いっぱいになっている
	芝が濡れている

■走行しない、刃が回転しない、異音

症 状	原 因
走行しない	走行（駆動）ベルトの切れ、摩耗
刃が回転しない	刈刃ベルトの切れ、摩耗
刃が回転すると異音	プーリーの破損

11 仕様表

型式	RGC660	
機 体	全長（グラスバック装着時）	1,420mm（1,870mm）
	全高	1,150mm
	全幅（サイド排出口を装着時）	770mm（960mm）
	重量 ※ 2	127kg
エ ン ジ ン	メーカー	B & S（ブリッグスアンドストラットン）
	エンジン型式	14D937 PXi1000
	エンジンタイプ	4 ストローク
	排気量	223cc
	燃料タンク容量	4.00L
	エンジンオイル量	0.53L
	スパークプラグ	チャンピオン：RC12YC NGK：BKR5E
	点火方式	マグネット式
	潤滑方式	強制飛沫式
	燃料	無鉛レギュラーガソリン
	バッテリー	メンテナンスフリーバッテリー 6-FM-18 12V 18Ah
	始動方式	セルスターター
作 業 ・ 走 行 性 能	刈幅	660mm
	刈高	30 ～ 85mm（5 段階）
	回転速度	3,300 ± 100r/min
	グラスバッグ容量 ※ 1	120L
	タイヤサイズ	輪前 4.10-4NHS 後輪 15 × 6.00-6NHS
	速度	前進 1.5 ～ 7km/h 後進 2km/h
	速度変換	5 段変速
対 応	草丈	30mm ～ 600mm
	芝丈	30mm ～ 85mm

※ 1 …グラスバッグはオプション販売です

※ 2 …グラスバッグは含みません



パーツリストについては、プラウ ホームページでのご案内となります。

左の QR コードまたは下記 URL からアクセスしてください。

「部品図・パーツリスト」 ページ URL

bit.ly/plowparts

発売元 株式会社ホンダワーク

〒943-0173 新潟県上越市富岡256-2

お問い合わせ先 ☎025-530-7025

<https://plow-power.com/>

